

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

(見発)

公表

事業所名 こどもハウス

保護者等数（児童数）

回収数 3

割合 100%

		チェック項目	はい	どちらか いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	3					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	2				本人及び、ご家族の意向をふまえ、適切かつ具体的な支援に向けて話し合う
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	2			クロス収束後対応していきたい。
保護者への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3					

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		2	1			話し合いを重ねて意思疎通をはかろう	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3						
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3						
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか		3				相談等に対してその対応を理解して頂く様、細やかな説明を行う	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3						
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3						
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3						
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3					
		㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3					
	満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	3					
㉓		事業所の支援に満足しているか	1	2				皆様に満足して頂けるように話し合う	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：

事業所名 こどもハウス

チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習や活動、おやつなどスペースを区切って使用している。	
職員の配置数は適切である	○			
生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		バリアフリー化をしてスムーズな情報伝達の為、事務室から様子が見える。	
生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		空気清浄器、加湿器を設置、前後のアルコール消毒	
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		月に1度の職員会議において行っている。	
保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施し保護者の要望や意向を確認し会議に取り入れている。	
事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開している。	
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は実施していない。	多くの方の意向があれば外部評価を行う様検討する
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		zoom等オンラインを利用して研修会に参加しているがコロナ禍で外部研修は行っていない	
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的に児童管がアセスメントを実施し次期支援計画に繋げている。	
子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		自社のアセスメントツールを利用し、社会生活能力検査等を実施している。	
児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインに従って児童発達支援を作っている。又、ひりひりの支援も考えられている。	

①	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	ケース記録も付ける際、常に各自の支援計画を念入りにしている。	
②	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	各活動のリーダーを兼ねて立案している。	
③	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	年間、月間、大きく趣向を変えている。	
④	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○	各子どもの性格を踏まえて、活動を考える時に計画を作成している。	
⑤	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	始業の会にて確認している。	
⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	終業の会と引継ぎにて確認している。	
⑦	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	行っている。	
⑧	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	問題は常に変化しているため、必要がある場合は対応している。	
⑨	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	親ばかり参加している。又、そのメンバーを変えて話し合いを持つこともある。	
⑩	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	子どもの成長に合わせてその程度、想談員と話し合っている。	
⑪	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		該当児童なし	
⑫	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		該当児童なし	
⑬	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	コロナ禍で多くは出来ず、最低限度の情報共有は電話等で行っている。	
⑭	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		該当児童なし	
⑮	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	コロナ禍で多くは出来ず、最低限度の情報共有は電話等で行っている。	
⑯	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	コロナ禍で行っていない	コロナが終息すれば活動の機会を設けたい

	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		オンライン等で行っている。	
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やライン等で行っている。	
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		家族支援の青かげはするが記録には残せていない。	
	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		行っている。	
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		行っている。	
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳の他に、ライン連絡も活用している。	
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍でもあり一瞬に乗っていない。	コロナが終息すれば活動をしていきたい
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談には迅速かつ適切に対応している。	
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一回「お知らせ」の発行やラインでのお知らせも発信している。	
	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員には免状会を通じて注意もうかがっている。	
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		コミュニケーションの大切さも考えて、仕事にあっている。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ禍もあってはいるが、町内の清掃活動も定期的に行っている。	
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを整備している。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に一度行っている。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アレルギー等にも周知している。	

④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			事業所内での飲食提供はしていない。 (該当なし)	
⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		月例会議で発表している。	
⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を受けた者が伝えている。	
⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束については特に保護者と話をしている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 2021 年アンケートに応じて（対応策）

お忙しい中、保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

利用日以外にイベントが多い為、参加できずに残念がっているという意見を頂きました。今後は今まで以上に利用者が参加されやすいように工夫してイベントを計画していくように検討しています。コロナ禍で様々の交流が制限される中、当事業所での活動をご理解して頂きありがとうございます。また、毎日のルーティーンとして手洗い・宿題・掃除をしっかりと取り組めるようになって欲しいとの意見も頂いております。これは生活の基礎となる部分でありますので、スタッフからの声掛けを中心に支援をしていきます。

緊急災害時の対応につきましては、地震・火事・不審者等、それぞれの場合を想定し、毎月防犯訓練を行っています。

毎月、「お知らせ」にて活動を報告しております。その他、疑問や不安などには、すぐに対応ができるように体制を整え対処したいと考えております。尚、児発の利用者様の祭日等の利用につきましても対応できるよう努力いたします。